

～下関市の姉妹・友好都市はどこですか？～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
渡邊 繁

アンニョンハセヨ！釜山広域市派遣職員の渡邊です。突然ですがクイズです。みなさん、下関市の姉妹・友好都市がいくつあって、どこだか知っていますか？自分の住んでいるまちが世界のどんな都市と関係があるか知らないのは残念ながらよくあることだと思います。意外と知らない姉妹・友好都市について、今号では私の派遣先である釜山広域市を例に、姉妹・友好都市について考えてみたいと思います。クイズの正解は、読み進めるとわかりますよ！！

姉妹・友好都市は文化交流や親善を目的として結びついた国際的な都市と都市の関係になります。そもそもなぜ姉妹都市というのでしょうか？これは諸説ありますが、英語の sister city に由来するという説が有力なようです。韓国語では姉妹都市の事をチャメ（姉妹）トシ（都市）と言います。また、姉妹ならどちらが姉で妹なのかと思うかもしれませんが、どちらが上位、つまり姉という決まりはありません。釜山広域市の場合、日本の姉妹都市は下関市と福岡市の2都市あります。そして、姉妹都市を締結するきっかけは何でしょうか？これは都市と都市の関係により異なりますが、下関市と釜山広域市は歴史的、地理的な要因があり、1976年(昭和51年)10月11日に姉妹都市の盟約を締結しました。

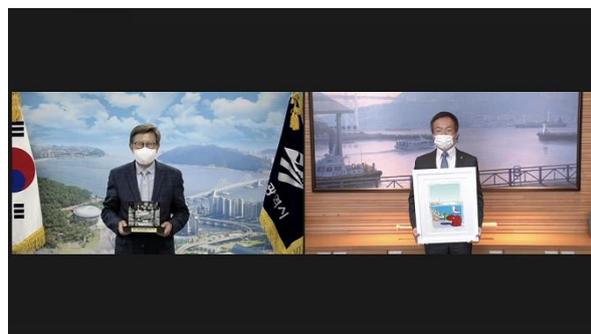
2021年(令和3年)は下関市と釜山広域市の姉妹都市締結45周年という記念すべき年です。残念ながらコロナウイルスの影響により、対面での交流イベントはできませんでしたが、下関市ではパネル展、釜山広域市では写真展が開催されました。もちろん私は、ここ釜山で姉妹都市である我が下関市をPRしながら、釜山市民の方に、「下関といえば何を連想するのか？」を尋ねてみたのですが、唐戸市場や関釜航路を挙げる人が多かったです。みなさんは釜山と聞いて何を連想しますか？国際観光都市の釜山には魅力的な観光地や美味しい食べ物が多くあります。私の任期中、釜山の魅力について、いろいろ発信していきますので、まだ釜山のことをよく知らない方も次回の記事を楽しみにしておいて下さい。去る10月1日には下関市、釜山広域市の両市長がオンライン対談を行い、姉妹都市の友好関係を継続する意思を確認しあいました。そして記念品交換を行い、これからの交流事業が再び活性化する証となりました。ちなみに、釜山広域市からいただいた記念品は、市役所本庁舎西棟4階の売店前に絶賛展示中です。

姉妹都市とは、外国の仲のよい友人ともいわれます。言葉が通じないことを心配される方も多いかと思いますが、釜山には日本語を話せる韓国人が多いのも特徴です。コロナウイルスの影響は引き続きありますが、外国の仲のよい友人としてお互いが行き来できる日が早く来ることを願っています。

お待たせしました。冒頭のクイズの解答です!! 下関市の姉妹・友好都市は、ブラジルのサントス市、トルコのイスタンブール市、韓国の釜山広域市、中国の青島市、アメリカのピッツバーグ市の 5 都市です。あなたはいくつ正解できましたか? では、アンニョン!!



記念写真展(釜山市役所)



市長オンライン対談